

1 題材名 感じて考えて～和～

2 本題材の目標

- (1) 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解する。  
 表現方法に応じて、多様な材料を活用するとともに、前学年までの絵の具や接着剤などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫する。 (知識及び技能)
- (2) 感じたこと、想像したこと、伝えたいことから表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながらどのように主題を表すかについて考える。  
 作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。  
 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 和から感じたことや想像したことなどを手と心を働かせて多様な材料を使って絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。 (学びに向かう力、人間性等)

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知①自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。 技①表現方法に応じて、多様な材料を活用するとともに、前学年までの絵の具や接着剤などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫している。	思①感じたこと、想像したこと、伝えたいことから表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考えながらどのように主題を表すかについて考えている。 思②作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。 思③形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもっている。	態①つくりだす喜びを味わい主体的に手と心を働かせて、多様な材料を使って表したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

4 題材について

(1) 題材観

本題材は、和というテーマを基に、材料や用具に触れて感じたことから「自分の和」として表したいことを見付け、絵に表すものである。自分の和のイメージを表せるよう、材料の形や色、質感などの造形的な特徴と自分のイメージとを結び付け、表したいことを工夫して表せるようにする。構想の段階では、Jamboard で材料の特徴を学年間の友人と共有することで、イメージと材料の形や色、質感などを結び付けて考えられるようにする。構想シートは、導入で行う抽象画鑑賞と同じ形式とし、材料の形や色、質感などとイメージとを結び付けて構想できるようにする。材料は、毛糸や液体粘土、段ボール、和紙、新聞紙、麻布などを用意し、表したいことに合わせて材料や用具を選択したり組み合わせたりして自分の和を表現していく。材料を親しむ場を設け、材料を選択するだけでなく、手が止まったときの発想の手助けとする。また、製作後には、生活の中の和をタブレット型PCで撮影して持ち寄り鑑賞する。和を表現した

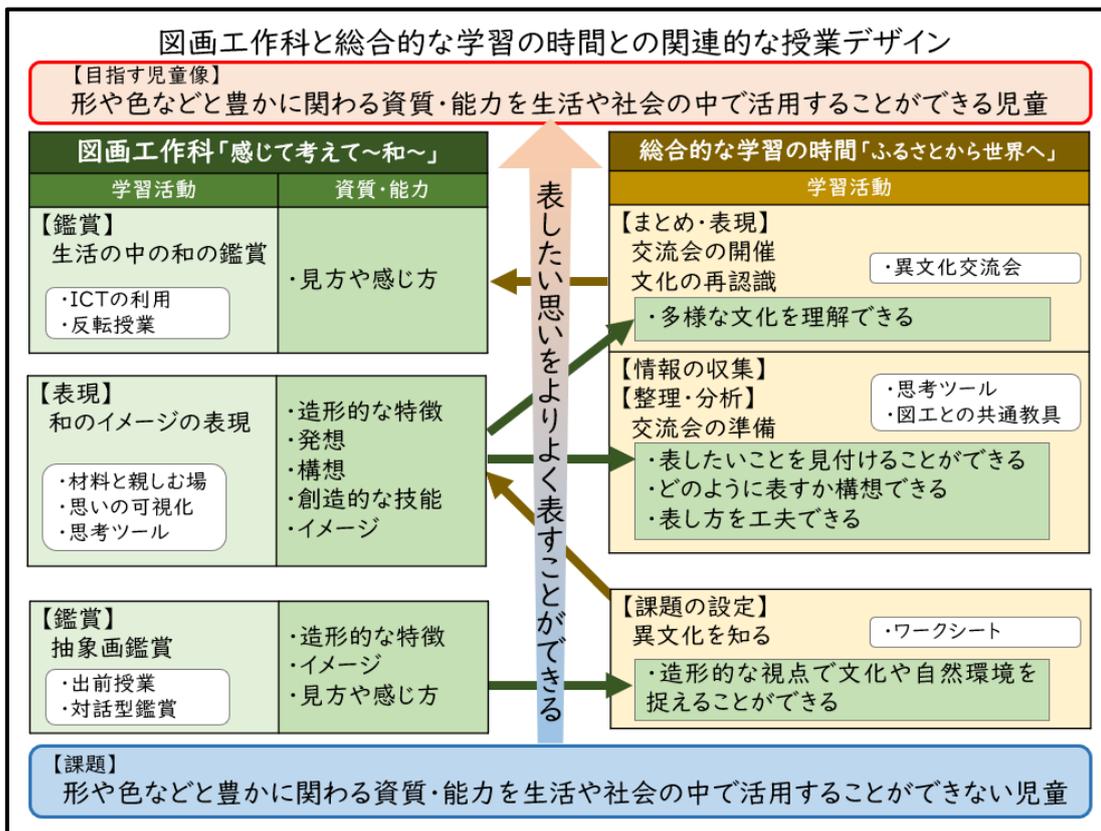
後に生活の中の和を改めて造形的な視点で見直すことで、見方や感じ方を深めることができる題材である。

(2) 児童観

本学級では、図画工作の授業を楽しく活動できている児童が多い。一方で、「図画工作科の授業が生活に活用できているか」という質問には、「活用できている。」と答えた児童は少数であり、図画工作科で身に付けた資質・能力を生活の中で活用することまで考えている児童が少ないことが分かった。

(3) 指導観

本題材では、小学校第6学年図画工作「感じて考えて～和～」と総合的な学習の時間「ふるさとから世界へ」において、双方の資質・能力の活用が往還する授業デザインを構築する。総合的な学習の時間では、日本のよさを伝える活動を通して、日本と外国の文化の共通点や相違点を理解し、異文化への視野を広げ、日本のよさについて改めて気付くとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにすることをねらいとしている。まず、導入部で、茨城県近代美術館のアウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」と連携した鑑賞を取り入れる。造形的な視点を明確にして鑑賞し、自分の見方や感じ方を深められるようにする。鑑賞で身に付けた造形的な視点を、総合的な学習の時間の課題の設定で活用し、異文化の特徴を造形的な視点からも捉えることができるようにする。次に、総合的な学習の時間で広げた造形的な視点を、図画工作科の絵に表す活動「感じて考えて～和～」に活用する。異なる文化や価値観に触れたことで、和という主題を造形的な特徴から深め発想や構想、表し方の工夫などができるようにする。また、総合的な学習の時間では、既にまとめている日本文化のスライドを「海外の人に発信する」という視点で再考し、よりよい表現にしてオンライン交流会を行う。図画工作科の表現の過程は、総合的な学習の時間に交流会を企画・運営する過程と類似しているため、図画工作科の資質・能力を活用できると考える。さらに、総合的な学習の時間で身に付けた多様な文化への理解を図画工作科の鑑賞で活用し、生活の中で和を見直して美しさやよさなどを感じ取る。このように関連的な授業デザインの工夫をすることで、形や色などと豊かに関わる資質・能力を育むだけでなく、生活や社会の中で活用できると考える。



5 学習の計画と評価（7時間扱い）

次	時	学習内容・活動	知 技	思	態	評価方法・留意点等
1	1	<p>課題 何に見えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「無題」を対話鑑賞し、<b>造形的な特徴やイメージ</b>を発表する。</li> <li>「普門品雲雷鼓掣電」を鑑賞し、<b>造形的な特徴やイメージ</b>をワークシートに表し、対話鑑賞で<b>見方や感じ方</b>を深める。</li> </ul> <p>まとめ 形や材料などから、イメージをもつことができる。</p>	○ 知	○ 鑑	○	<p>思①：造形的な特徴を基に自分のイメージをもつことができるかを見取り、イメージを言葉に置き換える等の声かけをする。【観察】</p> <p>態①：主体的に学習に取り組むことができるかを見取り、気づきを促すような声かけをする。【観察】</p> <p>知①：造形的な特徴を理解できているかを見取り、画像を拡大したり比較したりして指導に生かす。【観察】</p>
2	2 5 6	<p>課題 自分の和はどのように表せるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材料に触れて<b>発想</b>を感じたことをJamboardで共有し、<b>造形的な特徴</b>を理解する。</li> <li>和の<b>イメージ</b>をワークシートに記入し<b>構想</b>を練り表し方の見通しをもつ。</li> <li>ワークシートを使って和の<b>イメージ</b>を伝え、使う材料を紹介し合う。</li> <li>多様な材料に触れ感じ考えることを繰り返しながら自分の和を表す。</li> <li>材料：液体粘土、絵の具、段ボール、和紙等</li> </ul> <p>まとめ イメージを表すには形や色などを工夫して表すことができる。</p>	○ 技	○ 発	○ 発	<p>思①③：自分の和の表し方の見通しを立て、表現に繋げているかを見取り、和のイメージを可視化したJamboardを確認するよう声かけをしたり、1学期の和の掲示物を確認したりする。【観察】</p> <p>技①：和のイメージをもって作品に表しているかを見取り、材料に触って自分の和の感じを確認し、表現に生かすよう助言する。【観察】</p> <p>技①【作品】 思①③【発言、ワークシート】</p>
3	7	<p>課題 生活の中にはどんな和があるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの和を記録し鑑賞することで、<b>見方や感じ方</b>を深める。</li> </ul> <p>まとめ 振り返り 形や色や材料を見ると、生活の中に、たくさんの和の表現を見つけることができる。</p>	○ 知	○ 鑑	○	<p>知①【ワークシート】 思②③【ワークシート】 態①【ワークシート、活動の様子】</p>

総合的な学習の時間（全12時間）	
単元名「日本のよさ再発見 ～ふるさとから世界へ～」	
時	学習内容・活動
1 5 2	<p>【課題の設定】</p> <p>課題 異文化を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジンバブエとオンラインでつながり、現地の話聞いて文化や自然環境を知る。</li> <li>ジンバブエの話聞いたことから、考えたことを整理し、共有する。</li> <li>日本のよさをジンバブエの人に紹介する異文化交流会を開くことを知り、今後の活動についての見通しをもつ。</li> </ul> <p><b>・造形的な視点で文化や自然環境を捉えることができる</b></p>
3 5 9	<p>【情報の収集】 【整理・分析】</p> <p>課題 異文化交流会の準備をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異文化交流会でジンバブエの人に伝えるために、1学期につくった日本のよさのスライドを再考し表したいことを見付ける。</li> <li>よりよい異文化異交流会にするため、どのように日本のよさを表したらよいかを構想する。</li> <li>異文化交流会で日本のよさの表し方を工夫する。</li> <li>異文化交流会を成功させるために、友達と役割分担をする。</li> </ul> <p><b>・表したいことを見付けることができる</b> <b>・どのように表すか構想できる</b> <b>・表し方を工夫できる</b></p>
11 5 12	<p>【まとめ・表現】</p> <p>課題 異文化交流会をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「日本のよさ」を発表する。</li> <li>友達と協力して会を運営する。</li> <li>異文化交流会によって分かったことや考えたことを振り返る。</li> </ul> <p><b>・多様な文化を理解できる。</b></p>